



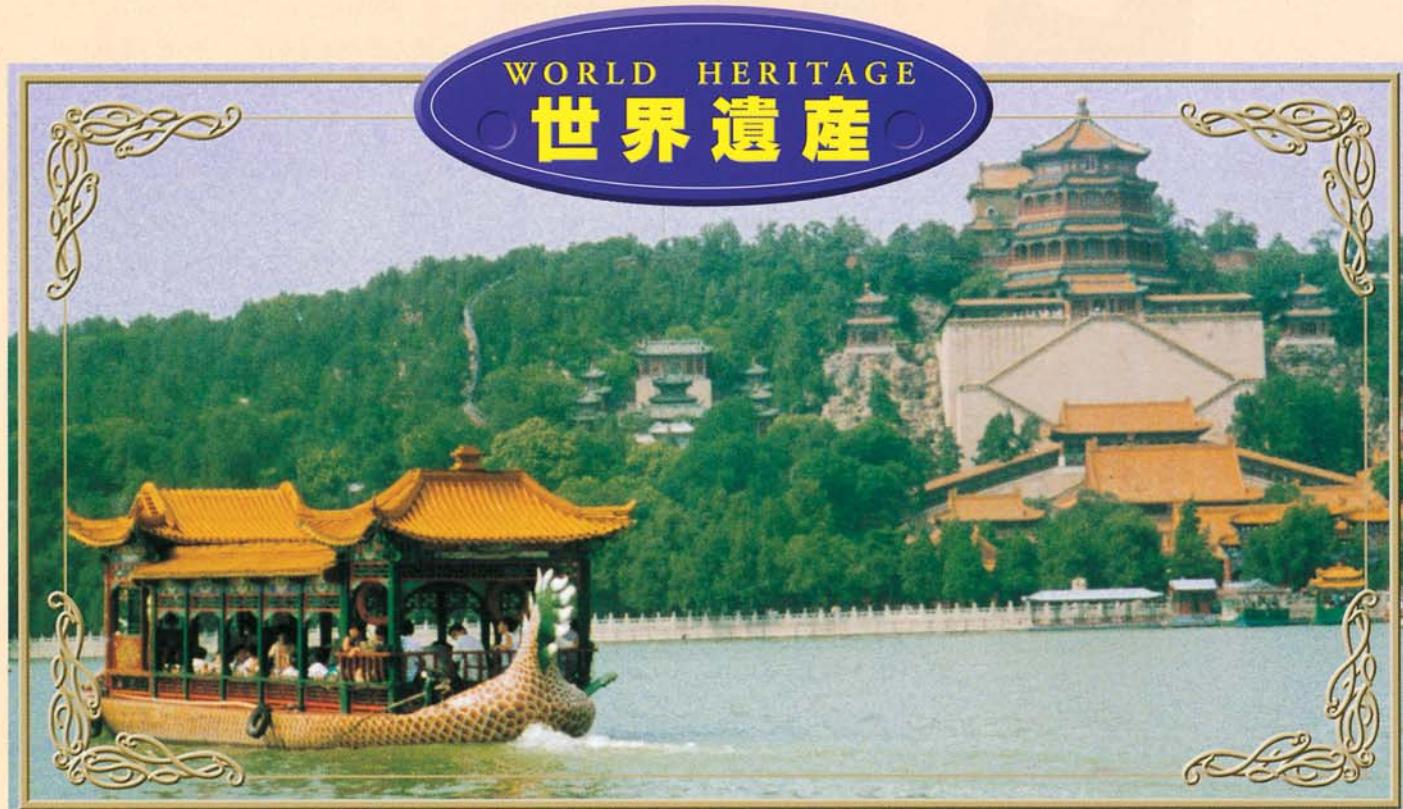
TIAニュース



財団法人栃木県国際交流協会  
Tochigi International Association

# やあ!

2000 NOVEMBER 11  
No.70



▲頤和園は、中国北京市中心部から西北15kmにある高さ58.59mの万寿山と昆明湖からなる中国の典型的な庭園で、面積は290ha。そのうち水面が4分の3を占める。西太后が愛用した離宮といわれる。英語名では「サマーパレス」と呼ばれ、中国で最大規模の皇室庭園。写真の中央の八角形の建物は、「佛香閣」と呼ばれる木造3階建ての建物で、頤和園のシンボル。(写真提供：李建軒様)

青年海外協力隊帰国隊員による派遣国紹介  
シリーズ NO. 19

## エルサルバドル共和国

TIAホームページ

URL <http://www.pto.co.jp/tia/>

◆ J E T コーナー カービー・マイナーさん（アメリカ出身）

◆ レポート 第1回中・高校生国際交流体験ツアー

◆ トピックス ▶フランス・ヴォークリューズ県から  
大学生と高校生が来県  
▶浙江省青少年民族音楽団が本県で公演  
▶小学生がインターネット体験

◆ あの店この店 中国茶専門店「茶縁」

# JETコーナー

外国语指導助手  
カービー・マイナーさん  
(アメリカ出身)

柔道選手として日本に住んでいて良かったことの一つは、最高の選手が集まるスポーツの祭典オリエンピックを見ることが出来たことだ。私がアメリカにいたら、決勝戦を見るためには徹夜で頑張らなければならなかったはずだ。しかし、日本ではノーカットで全ての競技を見る事ができた。シドニーとあまり時差がなく、スケジュールの上でもついていたので、生中継のテレビ観戦にとりわけ熱が入った。

高橋尚子選手がマラソンで金メダルを取り日本が湧いている最中、私は柔道で銀メダルを取った篠原真一選手に感動を与えた。フランス人のダビド・ドイエ選手に篠原選手が負けた。その勝敗には誤審との見方が多く、実際には篠原選手の一本勝ち、金メダル獲得という形で試合は終わっていたはずにも関わらず、フランス人選手が有効を取った結果になった。私が最も感動し



たのは次の点である。多くの人々は、判定直後、審判への抗議や銀メダル拒否を彼に期待したが、篠原選手はコメントを控えた。その後彼は、弱いから負けたとコメントした。このような言動を残せる強さこそが、金メダルよりも価値があると私は思う。

Kirby Minor

One perk of being in Japan, as a judo player, is that I was able to watch the most highly competitive athletes in the sport battle it out in the ultimate competition: the Olympic Games. If I had been in America, I would have been lucky to see highlights of the final matches and that is if I stayed up all night waiting for it. In Japan I saw every match uncut. With Sydney's time zone and a little luck in the scheduling I had the extra excitement of watching it live.

While Japan has been inspired by the marathon gold medal victory of Naoko Takahashi, my inspiration is being drawn from a judo player who won the silver medal, Shinichi Shinohara. Shinohara lost to Frenchman, David Douillet. The loss was highly controversial because the Frenchman was mistakenly given credit for a throw when in actuality it was him that was thrown. To make matters worse the throw by Shinohara was perfect which would have ended the match, rightfully earning him the gold medal. What inspired me was the reaction

of a man who unfairly lost the gold. Most of us would have expressed our outrage immediately after the injustice or even refused the silver medal but Shinohara waited to make any kind of statement and when he did he said that he lost because he didn't train hard enough. Showing that kind of strength in character is more precious than gold.

## コラム 中国の食文化 ~薬膳~

中国料理と言えば、世界的に有名ですが、漢方薬の薬材を使った料理「薬膳」があります。中国では昔から冬には精のつく食べ物を食べる習慣があります。特に冬至の前に食べるのが良いと言われ、当帰や枸杞の実を入れ、鶏肉と一緒に煮たりしてこのスープを飲みます。中国では、夏はあひるの肉を好んで食べますが、冬は鶏肉を食べます。その中でも、烏骨鶏の肉を食べるのが一般的です。「当帰」は寒冷地に生える高山植物のせりの一種で悪い血が浄化されてきれいな血に戻るといわれ、女性にはこの植物が合うと言われています。また「枸杞の実」は、栄養のバランスを改善し、新陳代謝を促し、免疫力を回復させるという効果があり、腎臓の機能を助け、視力の衰えを予防する滋養強壮の効果があるといわれ、男女とも効果のある植物です。

## ■TIAライブラリー案内■

(貸出のお問い合わせはTIAまで)

●世界の教科書にみる「日本」



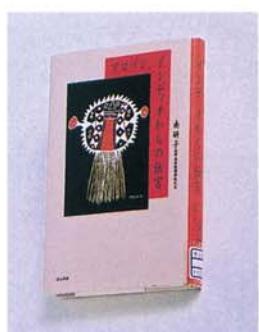
世界の国々の人々との相互理解を促進し、友好を築いていくためには、過去、特に近・現代において諸外国との間で起こった出来事を、それらの国々の人々がどのようにとらえているかを理解することが重要であると思われます。

この「世界の教科書に見る日本」シリーズは、改めて自国の歴史を顧み、「外からみた日本」の歴史を知ることのできる一冊です。

中国編、韓国編、ベトナム編、アメリカ編、フィリピン編からなり、5か国語の対訳形式。その国々の近・現代史をも同時に理解できる本です。(国際情報サービスセンター編・発行)

●アマゾン・インディオからの伝言

減少を続ける熱帯雨林。その森を守る先住民たち。インディオ保護区に生きる、貨幣経済も文字も無い人々との11年間に渡る



交流を綴った記録。これは、現代人の心を癒し、文明そのものを見直す精霊たちのドラマです。

作者の南研子さんは実際にアマゾンに赴き、体験をされてきました。

NGOに関心のある方にもない方にも、ぜひ一度読んでいただきたいと思います。(熱帯森林保護団体南研子著／株式会社ほんの木発行)

# レポート

## 第1回中・高校生国際交流体験ツアー

今年の夏、初めて「中・高校生国際交流体験ツアー」を実施した。

参加したのは、県内の中・高校生14名。一行は8月21日～26日の6日間、中国を訪れて、地元の中高校生との交流や一般家庭訪問など、異文化体験を満喫した。訪問先は、栃木県と友好関係にある浙江省及び上海市。

今回のツアーは、初対面同士の中学生と高校生の混合ということもあって、少々固い雰囲気でスタートした。

初日の8月21日（月）、ほとんどの参加者が外国に行くのが初めてで、最初に訪れた上海の広さと混沌とした状況に少々圧倒され氣味に、中国での第一歩を踏んだ。

その日の夜は、雜技を鑑賞し、多彩な技に歓声を上げた。

翌日は、バスで3時間かけて浙江省の安吉県へ向かった。高速道路を抜けてさらに奥に進むと、舗装されてない砂利道を通り、商店街を通り抜けたりと、また一味違った中国の風景を目にするながら、「ここに住んでみたい」などともらす生徒もいた。昼食後、上墅私立高級中学校を訪問。校長先生を始め、日本語を専門に学んでいる約40名の中国人生徒に拍手で迎えられた。

教室に入り、意見交換会を生徒同志で始めた。司会は中国側の女子高生。ハッキリとした日本語で「将来の夢」や「好きなもの」などをみんなに発表するように促し、積極的に手を挙げて話す中国人生徒には、大変驚かされた。始めは恥ずかしがっていたツアー参加者も、部活動の写真を見せたり、中国語で挨拶を披露するなどして、徐々に打ち解けあっていった。最後は日本で流行している歌をリクエストされ、全員前に出てモーニング娘の「ラブマシーン」を振り付けで歌い、大いに盛り上がった。その日の夜、郊外の「竹種園」という大きな公園で、上墅私立高級中学校の生徒と共にゲームや歌を楽しみ、最後は輪になって踊り、これを機に本当に仲のよい友達になれたようだった。

次の日の8月23日（水）は中国人生徒の家庭を訪問した。このときもやはり生徒同志のみで5人ずつのグループに分かれ、

別々の家に行った。部屋を一つ一つみせてもらい、台所やお風呂場まで案内され、家庭料理もごちそうになった。「ホテルの食事よりおいしい」と話す参加者もいたほどで、本当に暖かく迎えていただいた。各家庭に分かれた参加者は、中国人生徒と、思い思いにホテルへ戻ってくることになっており、人力車で帰ってくるグループもあったりと、それぞれ工夫して、全員無事にホテルへ集合することができた。それから学校に戻り、書道の授業を受けた。先生の話を中国人生徒が日本語に通訳してくれたので、熱心に話を聞くことができた。そして、いよいよお別れのときがやって来た。

記念に配られた扇子にお互いの名前を書き、別れを惜しみ、泣き出してしまう生徒もいた。

この2日間の学校での交流の模様は、浙江電視台（テレビ局）や地元ラジオ、新聞社等も取材に来ていた。

ツアーの後半は、杭州市内の観光。西湖を遊覧船で巡り、きれいな風景に感動した後、淨慈寺、茶畠などを見学した。

翌日の8月25日（金）は、列車で上海へ。豫園を見学したり、お土産用の買い物を楽しんだりした。

今回のツアーを通して、参加者は積極的で明るく、どんどん話しかけたり、中国人生徒とすぐに友達になったり、観光途中で出会った香港やインド、スペインからの観光客とも、片言の英語で会話したりしていた。また、買い物のときの、安くいいものを見分ける力や値切る力は逞しかった。水道水が飲めないことやバースポーツ等を自分で管理することなど、とまどうこともあっただろうが、今回初めてのいい経験として学ぶ部分も多かったであろう。

参加者全員から、有意義な6日間だったと満足の声が寄せられた。その中の一人、小出智美さん（宇都宮短期大学付属高校1年）は次のようにコメントしてくれた。「私がこのツアーに参加するときには大きな課題があった。それは本当の国際交流とは何かということだ。中国ではみんな私たちを笑顔で迎えてくれ、話しかけてくれた。そして日本語や日本について学んでいたことには驚いた。言葉が通じなくても目を見ればわかりあえるということもこの時知

った。交流するということは、お互いの文化を理解しあい、自分からアピールしていくことだということを学び、大きく成長できた6日間だった。中国の友人に負けないくらい勉強をして、またみんなと会いたい。」



▲中国の家庭を訪問（広いリビングで、クーラーも大きい）



▲家庭料理（とてもおいしい）



▲夜の「竹種園」での交流イベント



▲上墅私立高級中学校で、お別れのメッセージ交換

# エルサルバドル共和国 REPUBLIC OF EL SALVADOR

中央アメリカの中央部に位置し、西部は太平洋に面している。面積は日本の四国よりやや広いが、中央アメリカ諸国では最小の国。火山や湖が多い。

人口の大部分が農業に従事し、コーヒー、サトウキビ、綿花を主に栽培している。中でもコーヒーは最大の輸出商品である。

国名のエルサルバドルは「救命主」の意味。16世紀の前半にこの地を占領したスペイン人が命名。

## 現地ではホームステイ

私の勤務地は首都サンサルバドルでしたが、住まいは、首都からバスで1時間ぐらいの場所にあるソヤパンゴ市の現地の家族のところで、ホームステイをしていました。

この家族は自分が探したわけではなく、現地のJICA事務所が探してくれたのです。この家庭はエルサルバドルでもかなり裕福なようでメイドもいました。

最初に困ったのはやはり言葉の問題でした。スペイン語圏ということでコミュニケーションをとるのにかなり苦労しました。エルサルバドル赴任前にも勉強していましたが、現地でも1ヶ月くらいスペイン語の勉強をしました。その結果日常生活程度のコミュニケーションはとれるようになりました。自分の場合は、友達になって話が通じるようになるという感じでしたが、やはりホームステイのときは、自分の意思が通じなくて、なかなか言いたいことを伝えるのが難しかったです。なんとなく相手に無理やり要求しているような感じになってしまいました。人より時間はかなりかかりましたが、結果的になんとかスペイン語で話せるようになりました。



首都のサンサルバドルの風景



## 森林課は日本の営林局

現地では、天然資源局の森林課に所属していました。ここは日本で言えば、営林局や林野庁のような部署で、主に林野行政を行っています。

エルサルバドルは森林破壊の激しい国ですので、現地での私の業務は、植林のための種集めが主な仕事でした。種をとるための場所を探して、採取し、地域の役場等行政機関に供給しました。また、現地でのニーズも調査し、どういう機関でどのような需要があるのかということも調査したり、



データの分析や整理統計等も行いました。

また、この業務とは別に、現地のNGOと一緒に地方の農林地帯を直接訪問し、行政の立場から実際のNGOの活動における問題や不足点、住民の意識などの実態調査も行い、各行政機関に現状報告をしました。

現地の勤務は、行政機関ということで、完全週休2日制で、キリスト教国家のため、イースターやクリスマスや記念日等の祝日ももちろん休みでした。また、基本的には残業はなく、朝8時から午後4時までの勤

**案内人**



牛沢 理 さん (宇都宮市在住・33歳)

応募の動機は、知り合いの協力隊OBの方々を見て。元々海外には興味があり、しかも兄弟も協力隊のOBだったこともあって、その影響で、協力隊の海外での活動ぶりを聞き、応募した。

1996年7月から1998年7月までの2年間、エルサルバドルの行政機関である農牧省の天然資源局の森林課に配属。職種は森林保護。

農政省  
の建物  
・エルサルバドル市に  
ある・  
ソヤパンゴ市に  
ある  
天然資源局

務体制でしたが、他の近隣諸国に比べてエルサルバドルの人は良く働くため、昼食の時間は約1時間しかありませんでした。

## エルサルバドルの主食

エルサルバドルでは、トウモロコシをパンのように焼いて食べるのが一般的です。メキシコなどトルティーヤと同じようなものを主食としています。

南米諸国とちがうのは、エルサルバドル

作る女性  
▶「トルティーヤ」を



の人はほとんど生野菜を食べません。主に豆類を食べ、日本の小豆のようなフリーフォーレスと呼ばれている豆をよく食べます。特にエルサルバドルのボビュラーな料理は「プサ」といわれる食べ物で、トルティーヤの中にフリーフォーレスやチーズや牛肉を焼いて切ったものをはさんで食べます。

肉料理は牛肉が主で、フライパンで焼いたものが多いです。

朝食は、パンと卵とミルクかコーヒーですが、パンはフランスパンのように固いの



祭りの様子 ◀「イースター」の



▶地域の市場の風景



を食べます。また、ミルクはホットミルクで、冷たい牛乳は飲みません。

フルーツは南国ということで、パパイア、マンゴー、パイナップル等がとれます。

### エルサルバドルは混合文化

先住民族のマヤ民族とスペイン系白人の混血が多いため、エルサルバドルでは、キリスト教関係の行事等が盛んに行われています。この国では長い内戦があった影響で民族の伝統的な文化が消滅してしまいました。

エルサルバドルにもマヤ遺跡がありますが、このことはあまり知られていません。

また南米ではまだ残っている原住民の言葉も、この国では一部でしか残っていない、スペイン語で統一されています。

また、エルサルバドルは日本に良く似ています。

国土がせまく、天然資源もなくて、近隣の中米諸国とはちがう特色を持っています。しかし、経済は強く、発展が目ざましく、町のなかは活気に満ちあふれ、アジアの国のようなパワーがみなぎっていて、エネルギーです。

日本に似ているといわれるのも、それはこの国の国民性にもあります。日本人と同じように働き者で、他の国にあるような「シエスタ」(昼寝)の習慣もこの国には存在しないのです。



▲先住民族たちの花のまつり「フェスタ・デ・ラス・フローレス」

### ゲリラが政治家

この国には内戦があったため、当時内戦でゲリラとして活動していた人たちが、新しく政党をつくったりしているのも特色です。

彼ら政府要人は、日本へいろいろな研修にきています。

現在、エルサルバドル国内のNGOの活動地は、内戦前は綿花の産地でした。内戦のため、これら自然が破壊され、内戦後になんでも不毛の地帯だったため、誰もここに入ることはありませんでした。そのため、NGOがこの地に入り込み、農民組織等を作って、以前のような自然環境を取り戻すために様々な活動を行っています。

今では、アメリカ人やオーストラリア人なども来て、自然を取り戻すための活動を行っています。

この国ではいろんなところでユーカリの木がありますが、これはオーストラリア人が種を持ち込んだといわれています。

あちこちで、このユーカリの木をとる光景が見られます。このやり方は、梯子で上方に上り、枝ごと種を落とすのです。

環境破壊の大きい国ですが、産業としては、この国では、コーヒーが輸出用に生産されています。しかしながら、現地ではこの美味しいコーヒーを口にすること

とはまずありません。主要産業のコーヒーが外国にいかなくては飲めないです。

◀ユーカリの種を採取



◀ゆるやかな傾斜の農耕地

### お酒はウォッカ

エルサルバドルは中米なので、お酒というと、やはりビールかなと思う人も多いと思いますが、人々は主に、ウォッカを飲んでいます。確かにビールも無いわけではありませんが、バーなどでは、ウォッカが売られています。そのままストレートで飲むという人は少なくて、殆ど人が、炭酸で割ってレモンを入れたりして飲みます。

ここではウイスキーが高いため、ウォッカが庶民の一般的な飲みものとなっています。

### データ



青、白、青の横二色旗。中央の紋章ではほかの中米諸国との区別する。紋章には中米5か国を表す山、虹の絵や「神、団結、自由」の文字等がスペイン語で書かれている。1912年制定。

### エルサルバドル共和国

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| ① 面積   | 21,041km <sup>2</sup>     |
| ② 人口   | 603万人（98年）                |
| ③ 首都   | サンサルバドル                   |
| ④ 主要言語 | スペイン語（公用語）                |
| ⑤ 民族構成 | メスティーソ（89%）<br>インディオ（10%） |
| ⑥ 宗教   | カトリック（93%）                |
| ⑦ 通貨   | コロン                       |
| ⑧ 元首   | 大統領                       |
| ⑨ その他  | 協力隊員の派遣数208人<br>栃木県からは3人  |

# TOPICS

## フランス・ヴォークリューズ県から 大学生と高校生が来県

今年で8年目を迎えるフランス・ヴォークリューズ県からの大学生及び高校生の受け入れ。大学生は10月16日から26日までの10日間、高校生は10月30日から11月11日までの13日間、それぞれ受け入れられた。

来県した大学生は、アヴィニヨン食品産業経営高等学院で食品流通を勉強しているファブリス・トゥラヴァサックさんとスィルヴァン・ビトゥラさんの2名。ヴォークリューズ県の特産ワインの販売促進のために、東京のフランス大使館で関東地域の輸入業者を招いて試飲説明会を行ったほか、都内や県内のワイン小売店で市場調査をし、また、本年度、栃木県で開催された全国都市緑化とちぎフェア（マロニエとちぎ緑花祭）の会場で、ワインの展示・試飲会を行った。

一方、高校生はヴォークリューズ県議会のプティ・パトリシアさんの引率のもと、女子生徒5名が来県。入国後県内外視察を経て、メインプログラムの作新学院高等部での体验通学やホームステイを行った。

▼作新学院高等部での書道の体験学習。



## 浙江省青少年民族音楽団が 本県で公演

栃木県で開催された全国都市緑化とちぎフェア（マロニエとちぎ緑花祭）で公演するため来県した。10月28日、29日の両日、壬生町と宇都宮市の両会場で公演を行い、また佐野市文化会館でも30日に公演を行った。

今回の団員は、駱介礼団長以下、コーチ、通訳を含む計17名。浙江芸術学校の学生で、会場では中国の民族音楽を始め、伝統劇である「越劇」や中国舞踊などを披露し、大きな喝采を浴びた。



▲公演する浙江省青少年民族音楽団

## 小学生がインターネット体験

総合的な学習の時間の一環として、10月21日と24日に、宇都宮市立見宝小学校の児童たちが当センターを訪れた。

児童たちは担任の先生とともに、自分たちの調べたいテーマをあらかじめ決めて来所し、図書室やインターネットで情報収集を行った。

また、去る10月19日には、外国人から母國の説明を聞いたりする機会を持ちたいということで、宇都宮市立城東小学校から児童ら74名が来所し、当センター職員のブラジル出身の石川アンナさんと、県国際交流課に勤務している中国出身の国際交流員の施華忠さんから、それぞれの国の様子や子供たちのゲームなどを教えてもらったり、実際に遊んでみたりして楽しんだ。



▲熱心に情報を収集する児童たち

## こんな店 あんな店

### 中国茶専門店「茶縁」

宇都宮市のオリオン通りに、8月、中国茶とお菓子の店「茶縁」がオープンした。市内にはこのような中国茶の専門店がなく、店長の藤飛さんの奥さんが宇都宮市出



▲入口をはいったところにある中国茶のコーナー

身ということもあって、この地に店を開いた。

店内はまさに中国の茶館をイメージした作りで、入口近くには中国茶が置かれ、これは販売もされている。

茶縁に置かれているお茶の種類は40種類以上。ウーロン茶、緑茶、白茶、黄茶、紅茶、更には健康茶まである。一言で中国茶といつてもいろいろな種類があり、日本人に人気のあるウーロン茶も、觀音王、武夷肉桂、黄金桂といろいろ種類があり、それ香りも味も違うという。他にも銀針白毫とよばれる白茶や茉莉金蓮というジャスマシンもよく飲まれるそうだ。

飲むときには、それぞれのお茶に合わせた容器で出してくれるという。例えば、緑茶の場合は、お茶の葉と香りを目で楽しむという観点からガラスの容器で飲み、ウーロン茶は工夫茶といって、中国式茶道というものに従って小さい器で香りを楽しみながら味わう。紅茶の入れ方も中国式の入れ

方と西洋式の入れ方の二種類があり、お客様からは中国式の入れ方のほうが人気があるという。お茶のほか、ワンタン、小籠包、ゴマ団子などの点心もあり、お昼は飲茶のランチサービスも行っている。ぜひ、お友達とのちょっとした待ち合わせやおしゃべりの場として訪れてみては。

▶住所・電話=宇都宮市曲師町5-1 大島ビル 1F TEL028-637-5587 ▶営業時間=11:00~20:00 (ランチタイムは11:00~14:00)



# 情報発信 地域の国際交流案内

★第4回国際協力大学生論文コンテスト  
▶論文内容=開発途上国に抱える課題克服に向けた国際協力の取り組みに関するこ<sup>ト</sup>について、「開発援助」「環境」「貧困」「教育」「人口」「WID(開発と女性)」「農林水産業」「保健・医療」「工業開発」「参加型開発」から選び、論じてください。なお、人文・社会科学・自然科学などの領域は問いません。技術論に特化した内容も受け付けます。▶応募資格=平成12年度9月15日現在、大学学士課程もしくは修士課程に在籍中の方。国籍は問いません。▶応募規定=和文または英文にて執筆のこと。(和文の場合)12,000字以内。ワープロ使用の場合はA4サイズ1枚につき横40×縦20行。手書きの場合はA4タテ、400字原稿用紙、横書。なお、A4サイズ1枚に記された図表は400字とみなします。(英文の場合)4,200語以内。A4サイズ・ダブルスペース(24行/頁)。A4サイズ1枚に記された図表は140語とみなします。▶募集期間=平成12年9月15日(金)~平成13年1月10日(水)(必着)▶入賞発表=平成13年4月。入賞者には、直接文書にて通知いたします。また「国際協力」(国際協力事業団発行)誌上においても発表、掲載いたします。▶問い合わせ及び応募先=〒163-0489東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビル内私書箱300号財日本国際協力センター広報部内「JICA国際協力大学生論文コンテスト」係TEL03-5322-2541 FAX 03-

5322-2541  
JICAホームページ  
<http://www.jica.go.jp/email:ronbun@jica.org>

★サンフランシスコNPOボランティア  
体験プログラム  
アメリカ社会のしくみやNPOを総合的に取得できる体験型トレーニングを通して、青少年のNPOセクターに対する総合的な理解と活動意欲を満たすとともに、国際的な視野を備えたグローバルな人材育成を目指す。▶内容=セミナー受講やNPO訪問、ボランティア活動、ウォーキング・ツア、フィールドトリップ、ゲストスピーカー付のディスカッションなどを通して、NPOやNPOが置かれているアメリカの異文化社会を体験しながらアメリカの市民セクターを学ぶ。▶実施場所=米国サンフランシスコ・ペイエリア▶実施期間=第一回目:2001年2月8日(木)~3月1日(木)第二回目2001年3月8日(木)~3月29日(木)▶募集人数=10名(最少催行人数5名)▶参加費=24万8000円より。▶応募締切=2000年12月18日(月)必着▶募集対象者=学生や社会人で、NPOのボランティアやインターンシップ、アメリカの文化に興味がある人。また、NPO活動に興味を持っているが専門的な知識や活動経験がないため、次のステップに移せないでいる人。実務経験不問。海外旅行ができる程度の英語力が必要。▶主催・問い合わせ先=日本太平洋資料ネットワーク(JAPAN PACIFIC RESOURCE NETWORK)〒104-0061東京都中央区銀座8-12-11第2サンビル6F TEL:03-3524-8821/FAX:03-3524-8825 EMAIL:jprntky@d2.dion.ne.jpホームページ:<http://www.jprn.org/>

★ピースボート～南回り地球一周  
地球各地の寄港地のNGOや学生たちと交流しながら、草の根交流をするクルーズ。最新クルーズは2001年1月16日~4月18日(93日間)のクルーズ。▶予定寄行地域=アジア・アフリカ・南米・大洋州▶資料請求先=ピースボート事務局〒169-0075東京都新宿区高田馬場3-13-1ノーベルビル4階 TEL:03-3363-7561 FAX:03-3363-7562 email:XLC00501@nifty.ne.jpホームページ <http://www.peaceboat.org/>

★スタディーツアー参加者募集  
▶派遣先=スリランカ(中央州)▶派遣日程=2001年2月21日~3月8日▶事前研修会=2000年12月16日~18日、国立オリンピックセンター(小田急線・参宮橋駅下車)詳しい研修内容の説明、スライド上映等。▶主催・問い合わせ先=アジア交流研究所〒113-0033 東京都文京区本郷2-24-1 本郷NYビル101 TEL&FAX 03-5840-9566ホームページ <http://www.asia3.com/> email:asia3@asia3.com▶後援=スリランカ大使館

★東日本国際協力セミナー  
地球市民として生きよう!  
▶日時=平成12年12月2日(土)13:10~3日(日)14:45▶場所=国際協力事業団二本松青年海外協力隊訓練所(福島県二本松市)▶主催=福島県・国際協力事業団▶内容=基調講演・分科会・交流会等。▶申込締切り=平成12年11月24日(金)▶申込み・お問い合わせ=〒960-8670福島市杉妻町2-16福島県国際課交流推進係担当:固山TEL:024-521-7183/FAX:024-521-7919

ツーリストのギフトカード **B'way**  
**全国共通ギフト券**  
デパート・スーパー・専門店 レストラン 旅行  
春の贈り物に。  
全国300,000店で使って、  
旅行もできるスーパーギフト。

「B'way」は贈られた方の好みで、自由に使っていただけるギフトカードです。全国のデパート、スーパー、専門店、レストラン、ホテルなど全国300,000店で商品券として使えるほか、近畿日本ツーリストで旅行券としてお使いになります。券種は、500円券、1,000円券、5,000円券、の3種類がございます。

宇都宮店  
〒320-0801 宇都宮市池上町2-2  
TEL 028-633-2151

人が好き。地球が好き。旅が好き。  
近畿日本ツーリスト

今日から二人は、同じ夢。  
幸せの未来を  
スローバラードで奏でたい。

**PK フラサ イン・くろかけ**  
婚礼・宴会・会議・宿泊・レストラン・ラウンジ  
〒320-0043 宇都宮市桜4丁目1番1号  
TEL 028-622-1981 FAX 028-627-9195

## TIA Information Corner

## 知ってて得する なんでもQ&A

[私費外国人留学生  
統一試験って何ですか。]

Q. 日本の大学に入りたいが、どのような準備をすればよいでしょうか。

A. ほとんどの日本の大学では、受験する外国人に対して、『日本語能力試験』の一級受験を義務づけています。試験は毎年12月の第一日曜日に実施され、成績は受験者の申告した受験予定の大学に通知されます。また、最近では、学力測定のために、「私費外国人留学生統一試験」の受験を義務づける大学が増えています。この試験は、文科系と理科系に分かれており、自分の希望する学部によって受験する科目が変わります。今年は12月10日（日）に実施予定です。試験の結果は、受験者が申告した受験予定の大学に通知されますが、大学によってこの試験の利用方法が異なるので、試験の申込の際に受験予定の大学に必ず確認することが大切です。

これらの試験の受験案内（願書）は主要書店で販売されていますが、詳細については、実施機関の（財）日本国際教育協会（TEL：03-5454-5215）に問い合わせて下さい。

○今回マロニエ緑花祭2000で公演した浙江省青少年民族音楽団の彼女たちは、日本の歌手の話になると目が輝く。特に人気があるのは金城武と深田恭子だった。これもテレビドラマの影響だろうか。

○「とちぎインターナショナルフェスティバル2000」のために、栃木県米消費拡大推進連絡協議会様からたくさんの栃木産米を提供していただき、また、財団法人あしぎん国際交流財団様から、助成金をいただきました。ありがとうございました。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄附金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同下さる企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

TIA日誌

2000年9月1日～2000年10月31日

- 9/2 インターナショナルフェスティバル2000第一回運営委員会（センター）

9/5 海外技術研修員・留学生ミーティング

9/6 海外技術研修員県内視察(日光方面)  
小学校国際理解教育講座（上三川町東）

9/17 浙江省から高校生来県（～9/25）

9/19 中学生作文コンテスト審査会

10/3 国際理解教育講座（星が丘中学校）

10/16 ヴォークリューズ県ISEMA 受入れ

10/19 宇都宮市城東小学校児童センター訪問

10/21 宇都宮市見宝小学校児童センター訪問

10/23 TIA ニュースやあ!onTV 放映

10/24 宇都宮市城東小学校児童センター訪問  
浙江省老齢委員会理事長表敬

10/25 インターナショナルフェスティバル2000第二回運営委員会（センター）

10/26 浙江省青少年民族音楽団受入（～11/2）

10/28 同公演（みぶ会場）

10/29 同公演（うつのみや会場）

10/30 フランス・ヴォークリューズ県高校生受入（～11/11）

10/31 ヴォークリューズ県高校生理事長表敬

NEWS

## 国連・全国中学生作文コンテストで 栃木県から大会の入賞者決定

過日、第40回国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト栃木県大会が行われ、宇都宮市立鬼怒中学校1年の田代温美さんが、最優秀賞を受賞しました。

田代さんの作文のテーマは、「国際理解と国際協力について」で、田代さんがガールスカウトに所属していて、タイ國の人たちとの交流や、文具をパキスタンなどに贈る「ピースパック」と呼ばれる活動に参加した感想などを述べたものです。今後も外国のガールスカウトと交流を深めたいそうです

なお、栃木県大会のその他の受賞者は、以下のとおりです。

優秀賞に氏家中の小竹真未さん、栃木市立寺尾中の寺内愛さん。努力賞に小山中の鶴見志穂さん、葛生中の広瀬操さん、西方中の早乙女真弓さん。

TIA 賛助會員募集中！

賛助会員になつていただきますと、TIAの機関紙、各種刊行物、催事情報等をお届けします。またテレビ方式変換ビデオ（海外→日本、日本→海外）をご利用できます。その他、会員証の提示により、指定店での割引等の特典もあります。年会費は個人3,000円、団体10,000円、法人30,000円です。

※賛助会費と出捐金の運用益は、TIA の様々な事業に使わせていただいており、地域の国際化のために役立っています。

### ＜新規賛助会員の方々＞

個人：外間オスカル様、石川多喜夫様、  
吉成亨様、三上聰様、野崎洋様、  
高野昌之様、藤川伸一様、江本章様  
～ご入会、ありがとうございます～

